

◆第4号議案：役員選出

一般社団法人群馬県言語聴覚士会 2022年度役員(案)

<理事>	理事候補者16名	理事会決定の役職(案)も掲載
会長	木村 大輔	松井田病院
第一副会長	角田 淳	群馬整肢療護園
第二副会長	丹下 弥生	群馬パース大学
事務局長	江口 育恵	群馬リハビリテーション病院
学術局長	永原 大樹	前橋医療福祉専門学校
事業局長	高橋 典子	高崎健康福祉大学訪問看護ステーション
学術研修部長	鈴木 謙	公立藤岡総合病院
財務部長	田村 絵里	デイホーム孫の手・前橋南
総務部長	金井 俊輔	株式会社 Pure Next
広報部長	川原 優美	高崎総合医療センター
理事	峯岸 幸弘	群馬大学共同教育学部
理事	小原 透	群馬大学医学部附属病院
理事	平野 哲	老年病研究所附属病院
理事	井田 慎子	渋川中央病院
理事	岡崎 晶子	笑遊
理事	関根富美代	群馬県立聾学校

以上 理事16名

監事	真下 潔	社会福祉法人 久仁会 SONATARUE
監事	中里真利子	

◆第5号議案：資料 2022年度事業計画（案）

■ 2022年度事業計画

<2022年度以降の事務局業務に関する方針(2021年度理事会案)>

昨年度理事会において協議を続けてきた、各部局の事業運営の基礎となる「事務局の運営」と、「会員の皆さんへの連絡方法」に関わる理事会の基本方針を次のように考えております。

○ 提案に至る経緯概要

現在事務局は各自所属先の業務に従事しながら、県士会の事務局業務（名簿管理・発送業務等）を行っているため多忙を極めています。会員数が150名を超えてからは事務処理にかかる業務時間が増大し、会員数250名超えの現在、さらに業務がひっ迫した状況になっています。今後のことを考えると現在の事務局運営方法では対応が難しくなることが予想されます。

そのため、県士会事務局業務の継続的で円滑な運営を確保するために、次の2点を挙げさせていただきます。他、3としてホームページのリニューアルのお知らせをします。

1 名簿管理・会費納入に関わる事務の外部委託

この件に関しては昨年度より検討していましたが、事務所・事務員の設置・雇用に要する経費は本会の予算を大きく圧迫してしまい現実的に難しい状況です。

代替案として事務局業務の一部を株式会社クラールに外部委託していきます。具体的な委託業務としては、会員情報の管理（入退会の管理と変更に伴う入力）と名簿作成、郵送用のラベル作成、会員の年会費の管理です。現在、事務局員3名で実施しているものを委託します。経費に関しては、予算案に示された通りです。ご了承頂ければと思います。

2 会員一人ひとりへのオンラインによる情報提供【ぜひ個人アドレスでの登録を！】

主要な情報は今まで通りメーリングリストを活用していきますが、1点ご協力頂きたいことがございます。

会員の皆さんに情報を提供する（※）ために、会員外の方の目に触れないよう施設単位のアドレス登録ではなく、個人でのアドレス登録をして頂きたいと考えています。そのため個人でアドレス登録されていない会員の皆さまにはご協力の程よろしくお願いいたします。

（※ 会員のみにお伝えしたい情報例として、ホームページ「会員ページ」のパスワード等）

3 ホームページの有効利用

6月よりホームページをリニューアル致します。当会の活動や、言語聴覚士について一般の方々に広く知って頂く手段の一つとして、また、会員の皆さまへの情報提供の場として、現在運用しているホームページの利便性を向上させ、有効利用を更に進めていきたいと考えています。具体的な内容は以下の通りです。

（1）会員ページ

会員限定のお知らせ（ニュースレター、会員限定のお知らせ、各種規程等）を掲載します。

(2) 外部リンク

賛助会員、その他の外部リンクへ直結します。掲載については事務局長・ホームページグループまた理事会で検討の上可能になります。

(3) 地域住民・本会外のST・学生への情報提供

ホームページは本会の顔であり、本会と社会をつなぐ窓口となると考えています。会員への情報だけでなく、本会会員外のST、これからSTを目指す学生、住民の皆さんへの情報提供とご意見の収集にも利用していければと考えています。

(4) 法人としての必要事項掲載

一般社団法人は、定款(本会運営のための基本的規則)や会計情報を公にしないなりません。現在と同様にトップページから定款等リンクできるようになっています。

以上、本会の事業運営を円滑に進めるために、ご理解とご協力お願いいたします。

<参加>

《参加・出席》

2022年

日本言語聴覚士協会令和元年度春期都道府県士会会長会議

第4回医療介護連携フェスティバル in 高崎

失語症者向け意思疎通支援者指導者研修

日本言語聴覚士協会令和4年度秋期都道府県士会会長会議

群馬県歯科医師会新年を祝う会

令和4年度群馬県リハビリテーション関連団体連絡協議会定例会議

地域リハビリテーション活動支援に関する都道府県士会担当者情報交換会

《会員登録》

群馬リハビリテーション関連団体連絡協議会 会員

NPO 法人日本失語症協議会 賛助会員

《後援》

依頼があった案件へ理事会で検討し対応します

《群馬県多職種連携推進協議会(オール群馬)》

参加団体の情報交換を中心に行う予定です。昨年度に続きコロナウィルス対策に関する情報交換や、各団体が取組んでいる事業に関する情報の交換や発信を行う予定です。

《群馬県POS連絡協議会》

運営会議出席者：木村、角田、丹下

介護予防部 (高橋、永原、中島)

県内の介護予防に携わるPT/OT/STのスキルアップ研修として研修会を開催し、高崎市ふれあ

いいきいきサロンや高崎市元気づくりステーション（長寿センター）への講師派遣事業を継続します。また、要請に応じて住民主体の介護予防を目的とした集いの場開催の支援を行います。

「2022年度ふれあいいいきいきサロン説明会」開催予定（WEBの検討あり）

「第8回介護予防推進に資する指導者養成研修会」開催予定（WEBの検討あり）

「第3回 災害支援とリハビリテーションに関する研修会」開催予定（WEBの検討あり）

訪問リハ部（高橋、針谷）

全国訪問リハ振興財団主催の全国リーダー研修に参加し、その方針を踏まえた上で2022年度の研修会を行う方針です。

「第6回群馬県地域リハビリテーション研修会（第12回訪問リハビリテーション実務者研修会）開催予定（WEBの検討あり）」

地域ケア会議部（岡崎、田村、丹下）

地域ケア会議や地域支援の場で、リハビリテーション専門職として自立支援に役立つ効果的な助言が出来るよう、継続して研修事業を行なっていきます。

「第8回介護予防に資する地域ケア会議研修会」開催予定

群馬県地域リハビリテーション支援センター（井田 小原）

POS 連絡協議会が群馬県から委託受けています。群馬県地域リハビリテーションセンター 事業を担当して、フレイル予防サポーター養成支援や地域リハ関係者研修会など実施します。

<事務局>

■総務部

1. 名簿、ラベルの管理・運営
2. 会員メーリングリストの管理・運営
3. 理事会開催及び議事録の管理・保管
4. 備品の管理・保管
5. 各種連絡発送
6. 事務局専用メールアドレス管理
7. その他

■財務部

1. 会費納入状況の確認（会費の入金確認、管理ソフト入力）
2. 会費徴収の促進
3. 出納簿入力
4. 領収書の仕訳
5. 源泉税等の納付

6. 講師等の領収書作成
7. 支払調書作成・送付
8. 委託業者 2 社 (会計事務所、クラール) への業務連携
9. 会計監査
10. 決算・予算報告書作成

*今年度より 1.2.の業務に関しては、業者へ委託するため準備を行っています。
それに伴い、会費の入金先など今後変更になる予定です。

< 学術局 >

■生涯教育部

【新人研修プログラム】

臨床経験が浅い新人 ST を対象に、他病院の指導者の下、担当症例の臨床経過をまとめ、新人症例発表会で発表をして頂き、ST としての幅広い視野と深い洞察力を磨くプログラムです。全体検討会を学術研修部研修会と重ならない月に開催予定 (例年 2 回)。新人 ST の臨床経験を深める場であり、他施設の ST との交流の場でもありますので、ぜひご参加ください。SV、新人 ST のみならず、会員のどなたでも参加できます。見学がてらの参加も歓迎です。

会員の皆さまには、新人 ST の臨床を支える支援として SV としてご協力いただきます。新人 ST と一緒に考え、学んで頂くことが大切なことと思います。こころよくお引き受けいただけるようお願いいたします。自薦歓迎です。エントリー条件その他につきましては学術局 生涯教育部員にお尋ねください。

【日本言語聴覚士協会生涯学習プログラム研修会】

2022 年度も日本言語聴覚士協会の規定に基づき、基礎 6 講座を 2 日に分けてオンラインでの開催を予定しています。開催要項は、協会・本会のホームページに掲載します。

■学術研修部

【研修会】

今年度は、医師コメディカルの先生を招いての研修会を 4 回予定しています。

日本言語聴覚士協会生涯学習プログラムの修了要件「症例検討・発表」の場を提供するため、「症例検討会」を開催します。参加要件は、日本言語聴覚士協会会員かつ本会会員となります。発表をする方以外の聴講はできませんのでご注意ください。

今年度の研修会、症例検討会も原則 Zoom による Web 開催とします。ただし、COVID-19 の感染動向によってはハイブリッド開催も検討しております。

【第 6 回学術研究発表会】

今年度は、11 月に Web 開催を予定しています。特別講演会は、北海道大学医学博士 大槻美佳先生を講師に招き、失語症についての講演を予定しております。例年通り、症例発表も 6~12 症例行う予定となっております。

昨今、COVID-19の影響で学会や研修会の様式も様変わりしております。研究発表の場、全国学会への足掛かりの場として積極的にご参加下さい。エントリー・参加募集等は、後日、広報やメール等でご案内させて頂く予定です。

< 事業局 >

■ 言語聴覚療法推進部

【地域リハグループ】

昨年度、『地域リハビリテーション活動推進のための人材育成研修会』は『介護予防推進コース』『地域包括ケア推進コース』の2つのコースについてそれぞれ初期研修のみWEB開催しました。今年度は、2コースの導入研修を開催します（WEB開催の検討中）。

これは全国協会の『人材育成事業』を県士会で実施するものです。2つのコースについてそれぞれ初期研修・導入研修があります。また、全国協会の修了証発行要件には『県士会活動の積極的な参加』が含まれています。当県士会では、各部の活動や研修会参加・事業への協力等をポイントでカウントしますので、これを機に県士会活動への積極的な参加をお願いいたします。

開催については、COVID19の情勢を鑑み、後期の開催、またWEB開催を視野に検討します。

詳細については追ってメーリング等でお知らせします。

【発達・聴覚グループ】

・研修会

3回を予定しています。

昨年度はCOVID-19の感染拡大により研修の断念がありました。今年度もzoomによるweb開催を原則とした安全に行える開催をしていきます。なお、感染の動向によっては開催方法の見直しも検討します。

研修会の詳細は県士会ホームページやメーリング等で随時案内します。ご確認をお願いします。

・教育現場における外部専門家配置事業

< 令和4年度 群馬県特別支援学校機能強化（外部専門家派遣）事業 >

園や学校へのST派遣事業へ参加協力も継続していきます。多くのSTにご参加、ご協力をお願いします。

【失語症グループ】

群馬県、前橋市、高崎市からの委託を受けて、2018年度から「失語症者向け意思疎通支援者養成研修事業」に取り組んでいますが、COVID-19の感染拡大を受けて2020年度、2021年度は新規の養成研修を中止し、修了者のスキルアップ研修のみの実施となっています。今年度は意思疎通支援者養成研修の再開を目標に、感染流行下において孤立が案じられる失語症者やご家族が交流できる場をどのように整えていけるか、また研修修了生の今後の活躍の場でもある派遣事業のあり方等について群馬県と協議を重ねていく予定です。

感染予防のため活動の難しさは多々ありますが、ようやく地域生活支援事業の中に位置づけられた失語症者向け意思疎通支援者の活動を現実のものとして実現していくための取り組みは、私達STにとっても楽しく貴重な経験となっています。興味のある方は是非失語症グループの活動にご参加ください。昨年に引き続き、皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

■広報部

【ニュース発行】

2022年7月1日付「群馬県言語聴覚士会ニュース 第70号」発行予定

10月1日付「群馬県言語聴覚士会ニュース 第71号」発行予定

2023年2月1日付「群馬県言語聴覚士会ニュース 第72号」発行予定

「群馬県言語聴覚士会ニュース」は、今年度も昨年同様、年3回の発行予定を計画しています。今年も「思わず読みたくなるニュース」、「役に立つニュース」を目標に紙面の内容も検討して引き続きホームページへの掲載する予定ですので、会員の皆様にはお手数をおかけしますが、ぜひホームページをチェックしていただきたいと思います。

【ホームページの管理】

ホームページのリニューアルを含め、管理・運営を行っていきます。会の運営に関する各種報告・研修会案内等を掲載していきますので、会員の皆様には定期的に関覧頂くようお願いいたします。

【言語聴覚の日イベント】

COVID-19の情勢を鑑みながら、イベントを開催できるかどうか検討していきます。

また、その他にも言語聴覚士、また本会の活動を県内外問わず皆様に広く知っていただけるよう、啓発活動を行ってまいります。

【その他の活動】

リーフレットの改訂・発行

他県士会広報の管理

- ・リーフレットは必要時に配布できるよう、管理していきます。必要な方は事務局までご連絡ください
- ・他県士会からの広報誌を管理しています。興味のある方は、是非広報部員までご連絡ください。

◆第6号議案：資料 **2022年度予算案**

収入の部

項目	予算額	内訳等
繰越金	1,728,501	
会費収入	1,340,000	正会員260名、準会員0名、賛助4
研修会収入	90,000	人材育成・学術研修
広告収入	0	協賛広告費
補助金収入	50,000	日本言語聴覚士協会活動支援補助金
委託事業費	141,200	R3年度失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修事業
口座利息	10	
収入合計	3,349,711	

支出の部

項目	予算額	内訳等
運営費	500,000	HP管理費、会計事務所委託料、事務委託料、委託準備費など ※
広告費	166,000	言語の日、介護フェスタなど
交通費	20,000	理事会、各部会等
会場費	110,000	総会、研修会など
印刷代	60,000	広報部新聞など
要請事業支払金	1,000	委託事業差額
会議費	10,000	理事会、各部会等
旅費交通費	5,000	学術研修講師、会長会議
通信費	60,000	切手、はがき、郵送料など
消耗品費	170,000	封筒、事務用品、PC、など
年会費	50,000	失語症友の会、POS連絡協議会、JRAT
諸手数料	10,000	支払手数料など
委託事業費	1,200,000	失語症者向け意思疎通支援者指導者養成研修事業
講師謝礼	150,000	講師謝礼、図書カードなど
雑費	1,000	
予備費	836,711	
支出合計	3,349,711	

※会計事務所委託費：110000円、HP管理費：170000円、事務委託費：100000円、その他管理費：50000円